

造船禁止の影響は

申請中の二十七隻が問題か

G.H.Q.の発表によると、マダロ、カッオ漁船は本年未定で、建造計が約八百二十隻、七百二十隻、昭和十四年の約八百六十隻（五萬三千六百トン）をはるかに上廻ることにになり、このためG.H.Q.では、

◆漁船水産が戦前より小さく、かつ燃料、網、ナワなどの資材不足、

◆漁船水産が戦前より小さく、かつ燃料、網、ナワなどの資材不足、

◆漁船水産が戦前より小さく、かつ燃料、網、ナワなどの資材不足、

地格昇格運動展開

俸給生活者が一丸となつて

小名濱の官公署、学校等の國を行わんとすることについて、軍支へん俸給生活者は一丸と協議したが、樋口町長が丁度なつて内地格の小名濱町を乙州縣中なので町長をして縣と地格に昇格の運動を起した。打合せをなした上で決定。郡では平市だけが地格で残存することにした。

夢の収穫

全部終る

七月初旬から引續き天候が、んばしくないのに、地方事務所、農業會では夢の早刈を奨励した結果、郡下の大麥作、付面積千七百町歩も高久、夏井の二ヶ村をのぞいた外大體完了した。昨年比して一週間も早い上、脱穀は機械が七割、人力が三割となつてゐるので、これまた早いので、新麥配給も豫想外に早いのではないかと見られてゐる。

小名濱町の町會協議會

小名濱町では二十五日午後一時町會協議會を開き、天懸陸下東北御巡幸の途次小名濱にお立ち寄り御視察を請うたん願

【第六條】傍聴者の報告に
より傍聴人を制限すること
ができる。

【第七條】ひ密書を閉鎖し、
決があつたときは傍聴人を
禁止せられたときは傍聴人
は直ちに退場しなければなら
ない。

平市役所が二市では
衛生夫募集
如く全市いっせいで清掃運動
を奨励することになつたが、
これにもない衛生夫五名の
募集を行つてゐる、年齢間は
十、若しくは市吏員と同様、
希望者は市社會衛生課まで申
出された。

鮫川の準備成る
平釣人會もアエの偵察へ
川釣の好適な樹てゐる、地境網は漁
師四名をつけて五百円（税非
）で希望に懸することになつ
たが、目下の鮫太公堂の獲物
はスズキ、ウグイ、ボラ、コ
ハダ等、快遊な釣りが出来る
とのこと。

一判り評
ことなで
のキグの
タルマ薬局
小名濱町
番地二二番

ホロの回収
値額は一貫円
郡では七月いづいを告せん
い特別回収期間と銘打つて
當一萬二千五百圓のホロ回
收にこころをこめてなり二十
五日全町村に通報を發した。
ホロの回収値は一貫五圓
ではかに報奨物資があられ
きては作付しなかつたもの

百人當りに三人弱
一人當り平均四六圓八〇銭

生活保護は昨月の金額は三十七萬四千三百
年九月七日から施 五十一円二角一人當り四十六円
行されたが、郡に 八十銭となつてゐる。郡人口
おける生活保護者は五月末現在 の比率からすると百人に三人
で七千九百八十五人、二千三 弱が保護をうけてゐることに
世帯でこれに支給の五月一ヶ なる

種別	人員	世帯
生活扶助	六、六三八	一、四九三
療養	三三	三三
助産	三三	一〇
牛養扶助	一五三	三三
養老扶助	一八	一〇
養育扶助	一五四	一四四
食料給與	二一〇	七六
衣料給與	三六二	一〇
住宅給與	一六五	五二
就職斡旋	二三八	三三
その他	七、九八五	二、〇〇三
計		

増設電話
共電式電話機 交換機
磁石式電話機 交換機
電話用附属品一式
平市二丁目電話四二八番
日東商會
長島菊苗

骨董 貴金屬 高價
寶石 和洋服 買入れ
和洋服特に若向高價御報參上
平市南町平館西隣 中央會館
(九一五)